ラックの仕様

- キャビネットおよびラックの一般的な要件およびガイドライン （1 ページ）
- 穴あきキャビネットの要件について （2 ページ）
- オープンラックの要件について （2 ページ）

キャビネットおよびラックの一般的な要件およびガイドライン

キャビネットまたはラックは、次のすべての特性を備えている必要があります。

- 標準の 19 インチ（48.3 cm）4 ポスト EIA キャビネットまたはラック。
- ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合する取り付けレール付き。次を参照してください。

また、キャビネットまたはラックは、次の要件を満たしている必要があります。

- 各 Cisco Nexus スイッチ シャーシについて、最低限、縦方向に 1 RU（ラック ユニット）、つまり 1.75 インチ（4.4 cm）のスペースがあること。
- 装置の背面をラックに取り付けない場合、2 本のラック取り付けレールの間の幅が、17.75 インチ（45.0 cm）以上であること。4 支柱 EIA ラックの場合、前方の 2 本のレールの距離が 17.75 インチ（45.1 cm）であること。

4 支柱 EIA キャビネット（穴あき型または壁型）は、次の要件を満たしている必要があります。

- 光ファイバケーブルの最小曲げ半径を確保するために、キャビネットの前方取り付けレールから前面扉までに 3 インチ（7.6 cm）以上のスペースが必要です。
- 背面ブラケットを取り付けられるように、前方取り付けレールの外面と後方取り付けレールの外面の距離が 23.0 ～ 30.0 インチ（58.4 ～ 76.2 cm）となっている必要があります。
- シャーシ側面とキャビネット側面の間には、2.5 インチ（6.4 cm）以上の間隔が必要です。シャーシの吸気口または排気口の通気を妨げるようなものは除去してください。

（注） ケーブル管理を考慮し、ラックまたはキャビネット内のシャーシの上下のスペースを広げて、すべての光ファイバまたは銅ケーブルを簡単にラックに通せるようにすることもできます。

穴あきキャビネットの要件について

穴あき型キャビネットの穴は、前面扉、背面扉、および側面にあります。「キャビネットおよびラックの一般的な要件」の項に示す要件に加えて、穴あき型キャビネットは次の要件を満たす必要があります。

- 前面扉および背面扉の全体に穴があり、60% 以上穴が開いていること。扉の高さの 1 RU あたり 15 平方インチ（96.8 平方 cm）以上開口部があること。
- キャビネットの上面にも開口部があり、20% 以上穴が開いていること。
- 冷却が促進されるように、キャビネットの床面は開放型か穴あき型であること。

Cisco R シリーズ ラックは、これらの要件に適合しています。

オープンラックの要件について

ページ A-1 記載の「キャビネットおよびラックの一般的な要件」のセクションの要件に加えて、シャーシをオープンラック（側面パネルまたは扉が付いていないもの）に取り付ける場合、ラックが次の要件を満たしていることを確認します。

- 各シャーシについて、最低限、縦方向に2ラックユニット（RU）、つまり3.47インチ（8.8 cm）のスペースがあること。
- 隣接するシャーシ間の間隔が6インチ（15.2 cm）以上あり、シャーシの通気口と壁面との間に最低 2.5 インチ（6.4 cm）の隙間があること。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。